

第三回要約

すばらしい！ 文と又との意味のつながりもとてもいいです!! (子)

毎日どこかで出会っているこのお米も、「と
うやってつくるの」「いつからか飯を食べて
きたの」なんてなると、よくわからないうた
だ。いろいろの国でいろいろな人たちが調べ
た結果、現在のところわかっていることは、
インドと中国の国境近くが原産地と推定され
、そこに住む民族によっていまから約七〇〇
〇年前に稲作がはじまったらしいということ
である。いま川ベリにいくと、外来種のイネ
科植物で穂にイガイカがする鋭い針のようなも
のをつけた実を見かけるだろう。それは、手
でさわってみるとガラガラチクチクして、と
ても食べてみようとなんて思えないものだ。
野生のイネは、このような植物に近いものだ
。たのだらうと思われる。野生のイネを集め
るだけでは効率が悪い。ものごとをよく観察
し、研究するようになった人かいたのだらう。野
生のイネを集めてきて、田をフくり種をまい
て育てるようになった。穂を一度に多く収穫
できるというわけだ。こうして野生のイネは

人間によって栽培し、作物にしたわけだ。
土手や道路をわいでイネに似ている植物を探し
てみよう。見つけたら一本として帰り、穂を
分解していろいろ考えてみるのも、わたした
ちの食べている米の誕生を想像するきっかけ
になるかもしれない。